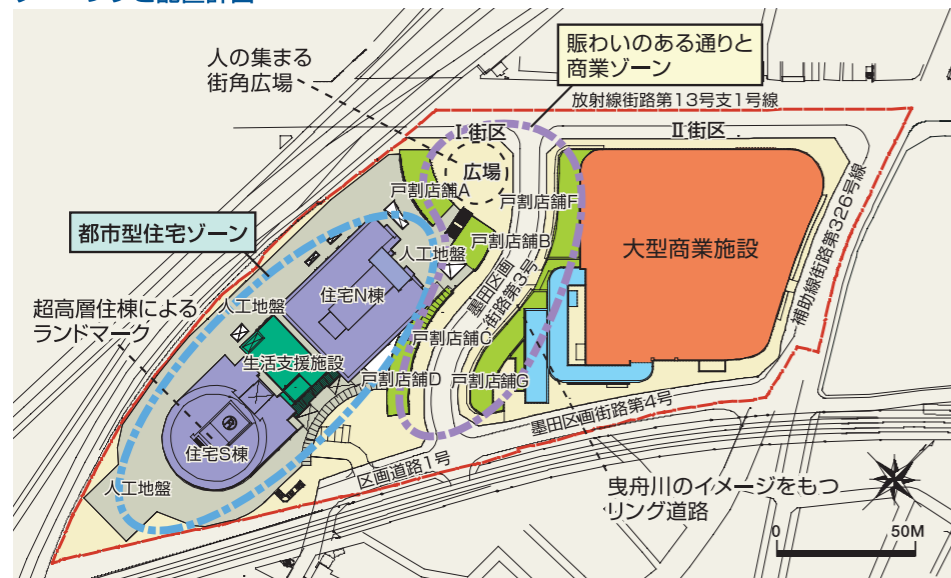


ゾーニングと配置計画



ランドマークの創出
都心とを結ぶ鉄道線と道路からよく見える位置である計画敷地の南端に41階の塔状の超高層棟を配置し、当地区周辺のランドマークとします。

快適な住空間の創出
830戸というボリュームの住宅を確保しつつも、各住戸の環境性能が低下しないよう配慮し、広場の確保などをした配棟を行っています。

地域の記憶を生かす新しい空間の創出
下町風土の息づくまちの環境や地域特有の記憶の伝承を図り、まちが新しくなっても現代的に翻訳しながら継承されるような空間を創出します。

賑わい空間の創出
II街区に立地する大型商業施設、リング道路に沿った戸割店舗、駅前広場空間等により、賑わい空間を創出します。

生活支援施設の導入
生活支援施設棟に保育所を導入することで、当地区を含めた周辺地域の子育てをサポートします。あわせて、診療所を予定することで、周辺地域に居住する方々に複合的な生活支援サービスの提供を目的とします。

曳舟駅前地区は、東武伊勢崎線と亀戸線、そして京成押上線という私鉄3線が交差し、交通上も極めて重要な立地となっています。また、典型的な東京下町として、濃密なコミュニティが形成されている地区で、大規模な都市再生事業でありながら、地域の特性を反映した計画のもとに進められています。

I街区は「都市型住宅ゾーン」としてUR賃貸住宅等の超高層住宅棟(830戸)と戸割店舗、生活支援施設、II街区は「賑わいのある通りと商業ゾーン」として大型商業施設や多様な戸割店舗が予定されています。また、ゾーン南端の41階建の超高層住宅棟は、このエリアのランドマークとなるようにデザインされています。



墨田らしい「もてなし」の下町景観の創出にあたっては、界隈性のある賑わい空間を形成する軸を創出することを考えています。粋な暮らしを支える景観をつくる骨格として、当地区の中央に位置するリング道路、曳舟らしい建物が連続するまちなみを再現するかのような戸割店舗、快活にゆとりをもつて歩くことのできる歩行者空間とあわせて、各種イベントにも対応可能な、潤いを与える広場を駅前を整備しています。

人と水が紡ぐ豊かなヒストリー
「人と水」が培ってきた豊かな歴史を継承します。

江戸時代には田圃と沼地が広がっていた曳舟地域。あちこちに水路が伸び、灌漑用水や舟運に利用されていました。現在の曳舟川通りも、かつては曳舟川が流れ、小舟の先に結ばれた綱を岸から人力で曳いて川を遡っていたといわれます。明治以後は大小の工場が立ちならぶ工場地帯として発展。現在でも優れた技術を持つ中小の工場や江戸切子、桐箆笥などの職人工房も健在。江戸の粋と先進の技がしっかりと息づいています。

劇的に変わる東京イーストの、ちょっと進んだ上空生活。
イーストコア曳舟二番館 平成21年9月申込開始(予定)

お問い合わせはイーストコア曳舟二番館事務局まで
(土・日・祝を除く 9:30~17:30) ☎ 0120-399-330

最新情報はこちらから > www.ur-net.go.jp/hikifune

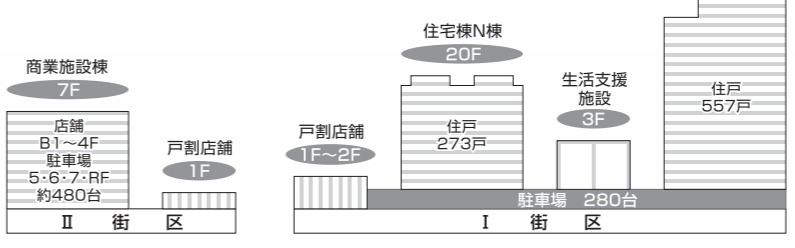


鉄道：東武伊勢崎線 曳舟駅/京成押上線 京成曳舟駅
(曳舟駅は半蔵門線・東武亀戸線も乗り入れ)
・浅草まで約4分(東武伊勢崎線曳舟駅より直通)
・大手町まで約18分(東武伊勢崎線曳舟駅より直通)
・上野まで約13分(東武伊勢崎線曳舟駅より浅草乗換)

事業の概要

事業名	曳舟駅前地区第一種市街地再開発事業
施行者	UR都市機構
所在地	墨田区東向島二丁目、押上二丁目、京島一丁目
施行期間	平成15年度~平成22年度
地区面積	約2.8ha
整備内容	公共施設 放13支1号線(曳舟川通り) 補326号線等(曳舟たから通り)
施設建築物	延べ面積 87,500㎡(I街区)(住宅、商業、駐車場等) 延べ面積 50,300㎡(II街区)(商業、駐車場等)

事業概念図(用途)



曳舟駅前地区
ひきふね

防災上の問題があり、地震発生時に大規模な被災の可能性があるため、重点的な改善が必要とされる密集市街地において、防災性の向上と居住環境の改善に向けたまちづくりの取り組みが行われています。東京都の重点整備地域(鐘ヶ淵周辺・京島地区/墨田区約218ha)に位置づけられており、曳舟駅前周辺地区約11・2haでは、まちづくりのルールである「地区計画」を導入して、開発の機運や地域の状況に応じて段階的な整備が進められています。

UR都市機構はこのエリアの「曳舟駅前地区」において市街地整備の先導的役割を担いつつ、再開発事業に取り組んでいます。整備は2街区に分けて、I街区は住宅、商業施設、生活支援施設、II街区は商業施設が計画されています。このほか地区計画区域内では、「京成曳舟駅前第一地区」において組合施行再開発事業が平成19年2月に竣工しており、京成曳舟駅前第二地区「等」でも組合施行再開発事業が予定されています。

